

1-1-1 健康づくり

伊賀流自治の視点からみた各主体の役割	
市民(団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は、「自分の健康は自分でつくるもの」という視点に立ち、自らが生活習慣を見直し、改善するよう努めます。</li> <li>・関連団体・機関は、健康づくりに関する情報提供、助言、活動機会の提供を通じて、市民の主体的な健康づくりを手助けします。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域は、地域住民が主体となり、身近なところで健康づくりに取り組む機会を提供するとともに地域ニーズに合った健康づくり活動を行います。</li> </ul>
市(市政再生の視点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康づくりを支援するため、健康に関する情報提供や具体的な取り組み方法を提案し、市民が自分自身に合った方法で健康づくりを気軽に楽しく継続できるしくみをつくりま。</li> <li>・地域における自主的な健康づくり活動を支援するため、地域・団体・企業などと情報交換を行い、それぞれが連携力して事業を実施するためのしくみをつくりま。</li> </ul>
誇れる・選ばれるまちづくりの視点	
各地域で、住民自治協議会等を中心にそれぞれのニーズに合った健康づくり事業を実施します。	
地区担当保健師が、身近な場所で地域の特徴やニーズに合った健康づくりをともに考え、支援します。	

【政策】健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり  
 (施策) 健康づくり  
 生涯を通じ、健康に暮らすことができる健康づくり

成果を示す指標 (K P I)	指標の説明	現状値			目標値
		(H26)	(H27)	(H28)	(H32)
健康寿命	65歳からの平均余命から介護等が必要な期間を除いた期間(歳)	男82.3 女85.4	男82.5 女85.6	男82.8 女85.7	男83.1 女86.1
平均余命	65歳以上が死亡するまでの平均期間を年齢に置き換えたもの(歳)	男84.1 女89.0	男84.2 女89.2	男84.4 女89.1	
介護が必要な期間	平均余命－健康寿命	男1.8 女3.6	男1.7 女3.6	男1.6 女3.4	